



かしわの

No 500 (7月号)
令和4年 6月30日
調布市立柏野小学校
校長 浅野 正 臣

<http://www.chofu-schools.jp/kasiwano-sho> mail:kasiwano-sho@chofu-schools.jp

「手間をかけよう」

生活指導主幹

6月は「ふれあい月間」でした。

人間の中でのふれあいという点で、人間の「間」という字を考えてみます。私の中で浮かんだ人に関わる「間」は、時間・瞬間・空間・仲間です。「時間」は、増やすことも減らすことも止めることもできません。「瞬間」もその時間の一種です。「空間」は目に見えないもので、空間自体は操作することができません。そして「仲間」は、相手がいることなので簡単に増やしたり減らしたりできません。人に関わる「間」は、人がコントロールできないものが多くあるようです。

そんな中、私は、自分で増やすことができ、減らすこともできる「間」を見つけました。それは「手間」です。

私自身、学校生活の中で、児童たちと接していく中で、「時間を守ろう」「一瞬を大切にしよう」「安心できる空間にしよう」「仲間を大切にしよう」と指導してきました。これは、どうにもできないものをどうにかしなさいと言っているのと同じで、大人として一方的な発言です。そして、自分自身が「手間をかけること」に力を費やすことが、いろいろな人と「間」を大切にできると思い付きました。

例えば、「時間を守ってほしい」⇒その時間を黒板に書きました。

「今という瞬間に集中してほしい」⇒「めあて」を提示しました。

「安心できる空間にしてほしい」⇒掃除をしてみんなで過ごす空間を心地よくしました。

「仲間を大切にしてほしい」⇒友達の名前を呼

んで活動に誘うように児童達に呼びかけました。このように、「手間をかける」ことで、具体的に行動にできることを増やしました。すぐ目に見える効果として表れるのかどうかは分かりませんが、児童が成長していく中で、身に付けてほしい人間らしさが育まれると信じています。

学校全体では、ふれあい月間を通して、全児童へのアンケートの実施と、それを元に一人一人の児童の話を行いました。学校生活の中で、不安に感じることも、不安に見えることも、直接聞くということから始めました。私は、この児童とのふれあいを通して、多くの児童が学校を楽しい場所と捉えていることを感じ、嬉しく思いました。その児童が感じている楽しさを共有しながらも、小さな不安にも寄り添っていきたいと思います。そして、児童が、教室を出るときや、靴を履き替えるときに「明日も学校に来たいな」と思えるように「手間をかける」ことを大切にしていこうと思っています。

ぜひ、ご家庭でも、「今日、どんな楽しいことがあった？」とお子さんの話を聞いてみてあげてください。

〈登校時間について〉

朝から気温・湿度が高い状況が、連日続いています。登校時間は、8時15分に校門を通過できるタイミングでお家を出るようにさせていただきます。また、できるだけ帽子をかぶったり、マスク着用も無理のないようにさせたりとお子様と話し合ってくださいようお願いいたします。